

作成日 2004年8月4日
改訂日 2021年12月29日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	ヒアルロンサン液 HA-LQH1
供給者の会社名称	キューピー株式会社
住所	東京都渋谷区渋谷 1-4-13
担当部門	ファインケミカル本部
電話番号	03-5384-7779
緊急時連絡電話番号	03-5384-7779
FAX 番号	03-5384-7879
推奨用途及び使用上の制限	化粧品用途 等

2. 危険有害性の要約

GHS 分類による危険有害性	該当しない
その他危険有害性	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
成分の化学名又は一般名及び含量	
精製水	98.85 % (CAS 番号：7732-18-5)
ヒアルロン酸ナトリウム	1.00 % (CAS 番号：9067-32-7)
パラオキシ安息香酸メチル	0.15 % (CAS 番号：99-76-3)

4. 応急措置

吸入した場合	うがい等で鼻孔、口腔を清浄にする。
皮膚に付着した場合	水洗する。
眼に入った場合	直ちに清浄な流水で 15 分以上洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄する。

本品は有害物ではありませんが、痒み、炎症等あれば、医師の診察を受けて下さい。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない
火災時の特有の危険有害性	利用可能な情報はない
消火を行う者の保護	通常の火災同様、適切な個人用保護具、自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋等）を着用する。
環境に対する注意事項	できる限り回収し、河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
回収、中和、封じ込め及び浄化の方法及び機材	できる限り回収する。少量はウエス等で拭き取り、多量の水で洗い流す。漏出箇所は滑りやすくなるので処置時注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	高温、直射日光による品質劣化に注意。アルカリ金属類、アルカリ土類金属、水素化物、りん化物などの禁水性物質との接触を避ける。適切な保護具を着用する（8.ばく露防止及び保護措置を参照）。
-----	---

保管

密封のうえ、直射日光、高温を避け常温で保管する。凍結厳禁。アルカリ金属類、アルカリ土類金属、水素化物、りん化物などの禁水性物質から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設置する。
保護具 保護眼鏡、保護手袋、長袖作業衣等、必要な保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粘稠な液体
色	無色
臭い	わずかに特異なにおい
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界および 爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	5.5～7.5
動粘性率	130mm ² /s 以上 (10→50、30℃)
溶解度	水に可溶。有機溶剤には不溶。
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の保管・取り扱いにおいて安定
危険有害反応可能性	通常の処理ではなし
避けるべき条件	直射日光、高温。凍結厳禁。
混触危険物質	アルカリ金属類、アルカリ土類金属、水素化物、りん化物などの禁水性物質
危険有害な分解生成物	水素 (混触危険物質と混合した場合)

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	
ヒトパッチテスト	異常なし※
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

※：本製品と同一配合組成の、弊社製別製品のデータ

配合成分「ヒアルロン酸ナトリウム」についての情報は以下の通りです。

急性毒性

マウスにおける急性経口毒性 (LD₅₀) 10g/kg 以上*

皮膚腐食性/刺激性

皮膚一次刺激性 刺激性なし*

累積皮膚刺激性 刺激性なし*

ヒトパッチテスト 異常なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 データなし

呼吸器感受性又は皮膚感受性

皮膚感受性 陰性*

生殖細胞変異原性

Ames 陰性*

発がん性 データなし

生殖毒性 無毒性量：50mg/kg/day**

特定標的臓器毒性（単回ばく露） データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露） データなし

誤えん有害性 データなし

亜急性毒性

許容一日摂取量 (ADI) 34mg/kg/day*
(ラットにおける 28 日反復経口投与より算出)

その他の情報**

急性経口毒性 (LD₅₀) はマウス、ラット及びウサギでそれぞれ 2400mg/kg 超、800mg/kg 超、1000mg/kg 超と考えられる。

反復投与試験において、SD ラットを用いた腹腔内投与による無毒性量は 15mg/kg/day、ビーグル犬を用いた膝関節腔内投与による無毒性量は 12mg/kg/day と考えられる。

生殖発生毒性試験において、無毒性量は 50mg/kg/day と考えられる。

変異原性試験において、細菌を用いた復帰変異試験、哺乳類培養細胞を用いた染色体異常試験及びマウスを用いた小核試験のいずれも陰性と判断される。

その他の毒性試験として、マウス、モルモットを用いた抗原性試験において、PCA 反応、能動全身性アナフィラキシー反応はいずれも陰性と認められている。

*：弊社製 ヒアルロン酸ナトリウムのデータ

**：食品添加物「ヒアルロン酸」について・厚生省生活衛生食品化学課監修の「既存天然添加物の安全性評価に関する調査研究—平成 8 年度厚生科学研究報告書—」より

12. 環境影響情報

生態毒性 データなし

残留性・分解性 データなし

生態蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性 データなし

13. 廃棄上の注意

残余物及び包装材料の廃棄においては、関連法規ならびに国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連分類、国連番号 該当せず

その他 高温、水濡れ注意。凍結厳禁。乱暴に取扱い容器を破損させない。

15. 適用法令

該当なし。

16. その他の情報

参考文献

NITE (独立行政法人製品評価技術基盤機構) 化学物質総合情報提供システム: NITE-CHRIP
JIS Z7253:2019, JIS Z7252:2019

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。また、安全な取り扱い等に関する情報提供を目的としておりますので、記載のデータや評価に関しては、製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。

新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱いをお願いします。